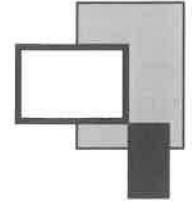


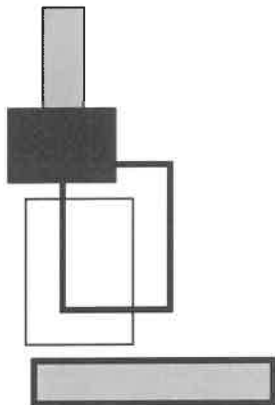


Matsuyama
Business
College

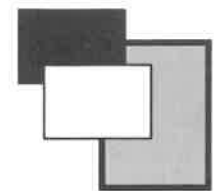


松山デザイナー専門学校

ファッションクリエイター学科



2023 年度
シラバス



ファッションクリエイターコース 1 年

名前

※一年間、各自保管すること

令和5年度

服飾家政専門課程 ファッションクリエイター学科 ファッションクリエイターコース

必修/ 選択		区分	科目名	種別	担当者	ファッションクリエイター コース1年		
						前期	後期	単位
必修		学科 共通	服飾造形Ⅰ	実習	大野・野口	180		6
			マテリアル/テキスタイルⅠ	講義	大木	30		2
			西洋服飾史(全学科共通)	講義	地紙	30		2
			ファッションドローイングⅠ	実習	大木	30		1
			クリエイションデザインⅠ(ファッション知識)	実習	野田	30		1
			パターンメイキングⅠ-A	講義	野口	60		4
			色彩学Ⅰ(全学科共通)	講義	青田	30		2
			デジタル演習Ⅰ(全学科共通)	実習	四田	30		1
			服飾造形Ⅱ	実習	大野		210	7
			クリエイションデザインⅡ	実習	野田		30	1
			パターンメイキングⅠ-B	講義	野口		60	4
			色彩学Ⅱ(全学科共通)	講義	青田		30	2
			デジタル演習Ⅱ(全学科共通)	実習	野田		30	1
			業界研究	講義	特別講師		60	4
			マーケティング	講義	大方		30	2
						420	450	40
必修科目 合計						870		40
年間合計時間/単位数						870		40

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	服飾造形Ⅰ	時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美、野口 陽子	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。				
学習到達 目標	縫製の基本を身につけ、オリジナルデザインの作品制作に生かせるよう技術を習得する。				
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～5	授業ガイダンス	ミシン、道具の使い方、縫製理論			大野
6～25	タイトスカート(20コマ)	ファスナー、ベルト、裏地、スリットの作り方			大野
26～50	パンツ(25コマ)	ベルト、ポケット、持ち出しの作り方			大野
51～75	ブラウス(25コマ)	衿、袖、ボタンホールの作り方			大野
76	授業ガイダンス	授業、制作物について、アイロン定規(紙定規)を作成			野口
77	縫代始末	縫代始末(折り伏せ等6種)、ダーツの縫い方(既製服縫製に基づく技法)			野口
78	段取りの合理化、ファスナー付	パターンカット、生地の裁断			野口
79	ファスナー始末	裏地にファスナー付け、表地にファスナー付け			野口
80～81	ベルト始末	ベルト作り、ベルト付け、両脇ゴム通し、両脇広巾ゴム			野口
82～83	スカートのベンツ始末	額縁始末、ベンツ、スリット			野口
84～85	パンツ前ファスナー始末	パンツ前ファスナー付け、脇ポケット			野口
86～87	襟作りの基本始末	フラットカラー、台襟付きシャツカラー、オープンカラー等			野口
88～89	袖口あき始末	スラッシュ、剣ボロ、袖口いってこい、袖下あき(玉縁始末)、袖下あき(片倒し)			野口
90	テスト	修了テスト			野口
使用テキスト 教材・教具	ボディ、他 約30点、配布プリント、障子紙、カラー不織布、ホッチキス				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	提出作品(デザイン性・縫製技術・完成度・スピード)50%、課題25%、修了テスト25%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。				

授業科目	マテリアル/テキスタイル I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大木 美代子			時間割	月曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	あらゆる繊維製品のもとになる素材の、基礎知識と加工による表現の可能性を学ぶ。						
学習到達 目標	織り、編み、染めの理解。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 デザイナーの実務経験					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	マテリアル: 素材		アパレル 繊維、糸の構造、織物三原組織				
2	マテリアル: 素材		織りと編み、染織知識、取扱と見分け方、品質表示				
3～5	プリント: 実習		プリントの知識、ステンシルデザイン、版下作成				
6～7	マテリアル: 素材		先染め、後染め、織り実践				
8	マテリアル: 加工		絞染めデザイン、天然染め効能、藍染知識				
9	染色: 実習		玉葱染め、お茶染め				
10	染色: 実習		生葉藍染				
11	繊維製品のSDGs		新しい繊維開発、染色とアップサイクル				
12	染色実習		藍染				
13～14	テキスタイル: 裂き織り		裂き織りとは デザイン考案・準備 (手で裂く/ハサミ・ロールカッターを使う) 平織り 実習: 経糸張り、緯糸織り				
15	作品まとめ		ポートフォリオ作成				
使用テキスト 教材・教具	生地辞典: 株式会社みずしま加工、生葉の藍、染め材靴下、発酵藍、顔料4色他						
参考図書 参考文献	生地辞典: 株式会社みずしま加工、テキスタイル用語辞典						
成績評価の 方法・基準	作品50%、ポートフォリオ25%、発想アイデア25%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	西洋服飾史			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	地紙 友紀			時間割	木曜 1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどの服飾文化を通して、流行の変遷やトレンドを読み解く力を身につける。						
学習到達 目標	服飾の歴史を知り、これからのデザイン発想や販売・スタイリングに役立つ知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	服飾史概論		衣服とは、身近なシャツを解体し服の構造を知る				
3	古代エジプト・古代ギリ シャ・ローマ		古代ギリシャ、古代ローマの服飾について				
4	古代ゲルマン・中世ヨー ロッパ		ビザンティン、ロマネスク、ゴシックの服飾について				
5～6	16世紀～17世紀		ルネサンス、バロック時代、ロココ時代の服飾について				
7	17世紀～19世紀		新古典主義、クリノリン、バースル、S字シルエットなどの服飾につい て				
8	19世紀～近代		現代における洋服の変遷や代表的なデザイナーを知る				
9	〃		シャネル・ディオール				
10	ブランド調査レポート		それぞれブランドを選択し、歴史やルーツを辿る				
11	ブランド発表		作成したレポートをもとに、発表(1人5分)				
12	1960～1970年台		戦後のファッション～ヒッピースタイル				
13	1980～1990年台		バブル経済～ストリートファッション				
14	2000～2010年台		現代のトレンド				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	配布プリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート50%、修了テスト50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションドローイングⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大木 美代子			時間割	月曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	素材、シルエット、ディテール等の基礎知識、表現方法を学ぶ。						
学習到達 目標	洋服を理解してスタイル画の作成ができるようになる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	基本プロポーション	デザイン画に必要な基本のプロポーションを描く					
2	応用プロポーション	デザイン画に必要なアレンジプロポーション を描く、片足重心					
3	プロポーション・手足、靴	デザイン画に必要な基本のプロポーションを描く(手足)					
4	プロポーション・顔	デザイン画に必要な基本のプロポーションを描く(顔)					
5	ヘアメイク	ヘアメイクデザイン画の描き方					
6～7	服のシルエット・ディテール	洋服のつくりを考えて着服する					
8～9	ペン入れ・絵具の塗り方 (影)	画材の使い方、光の当たり方表現					
10	ハンガーイラスト	ハンガーイラストの描き方①					
11	アイテム画応用	ハンガーイラストの描き方②					
12	柄表現	柄の描き方					
13	素材表現	素材の描き方					
14	デザイン画作成	現物のスタイリング剤から描く					
15	デザイン画作成	作成したアイテムをスタイリングして絵を描く					
使用テキスト 教材・教具	ファッションデザイン画ビギナーズマスター、コピックチャオ、色鉛筆、水性顔料ペン、ドローイング帳						
参考図書 参考文献	ファッションデザイン画ビギナーズマスター						
成績評価の 方法・基準	表現力60%、提出物40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	クリエイションデザインⅠ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴	時間割	水曜 3・4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年
授業科目の テーマと目的	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける。バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う。				
学習到達 目標	個性的でクリエイティブなデザインが考えられる力を修得。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法や、デザイン技術を指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	ファッションデザインのも と	エレガントとスポーティの意味、モダンとデコラティブの意味			
3～4	〃	テーマからのデザイン発想			
5～6	ファッションアイテムの知 識	スカートの知識と課題			
7～8	〃	シャツ・ブラウスの知識と課題、ハンガーイラスト			
9～10	〃	シルエットのバリエーションと課題			
11～12	〃	パンツ・デニムの知識と課題			
13～14	〃	コンテスト			
15	〃	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	スタイリングブック、プリント配布				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	パターンメイキングⅠ-A			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	月曜 3-4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。						
学習到達 目標	製図理論を理解し、基本的なアイテムの製図が出来る。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	授業ガイダンス	概論、製図道具の名称、扱い方、製図ノートの扱い方、既製服サイズの説明と採寸方法					
3～4	スカート原型	身体の特徴(ボディ使用)、スカート原型の作図(実寸製図)					
5～6	スカートバリエーション①	セミタイトスカート、ギャザースカート、ティアードスカート (縮尺製図)					
7～8	スカートバリエーション②	フレアスカート、サーキュラスカート、ペグトップ(縮尺製図)					
9～10	身頃原型製図	身頃原型概論、原型作図(実寸製図)、原型補正(サイズ)					
11～12	カット移動・ダーツの操作	カット移動5種、ダーツ処理の基本、後ろ身頃の補正法					
13～14	袖原型	袖原型作図(実寸製図)、袖山の高さの決め方、袖山のカーブの引き方					
15～16	ブラウス(1)	ブラウス作図 フラットカラー、ビショップスリーブ(縮尺製図)					
17～18	ブラウス(2)	シャツブラウス作図、シャツカラー、シャツスリーブ(縮尺製図)					
19～20	ブラウス(3)	セーラーブラウス作図、セーラーカラー、半袖(縮尺製図)					
21～22	パフスリーブ	パフスリーブのギャザー展開方法3種(縮尺製図)					
23～24	パンツ原型	パンツ概論、パンツ原型製図(実寸製図)					
25～26	小テスト	出題したデザインブラウスのパターンメイキング					
27～28	小テスト	出題したデザインブラウスブラウスのトワール裁断、トワール組					
29～30	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキングⅠ(学校法人 杉野学園出版部)、パターンメイキングⅡ(学校法人 杉野学園出版部) ドレメ式原型(学校法人 杉野学園出版部)、ドレメオリジナル原型 1/5 他 約9点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙	時間割	木曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。				
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格できる知識の習得。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	概論－色彩の働き	生活における色彩、ファッション における色彩			
3	色彩の体系	色の三属性			
4～5	〃	ヒュー&トーン			
6～7	色彩理論－基礎	色の成り立ち、光と色、三原色と混色			
8	〃	視覚と色			
9～10	〃	色彩と心理			
11～12	色彩の技術	配色の基礎			
13～14	〃	色彩構成の基礎			
15	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅰ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集：日本ファッション教育振興協会				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考					

授業科目	デジタル演習Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	四田 素子			時間割	月曜 4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な「Microsoft Word」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」の基本操作を学習する。						
学習到達 目標	Microsoft Word, Excel, PowerPointの操作スキルを習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①	授業科目のテーマと目的、Wordの基本操作を学ぶ					
2	Word ②	Wordで基本的な文書を作成する					
3	Word ③	画像や図形を活用した文書を作成する					
4	Word ④	表を活用した文書を作成する					
5	Word 演習	Wordの復習として演習課題を解く					
6	PowerPoint ①	PowerPointで簡単なプレゼンテーションを作成する					
7	PowerPoint ②	図形や画像を挿入し編集する SmartArtやグラフを活用する					
8	PowerPoint ③	スライドショーを実行する 配布資料を作成する					
9	PowerPoint 演習	PowerPointの復習として演習課題を解く					
10	Excel ①	Excelの基本操作を学ぶ					
11	Excel ②	表の体裁を整える 基本の関数を使う					
12	Excel ③	いろいろな関数を利用する					
13	Excel ④	グラフを作成する データベース機能を利用する					
14	Excel 演習	Excelの復習として演習課題を解く					
15	まとめ	WordとExcelを連携した書類を作成する					
使用テキスト 教材・教具	今すぐ使えるかんたんOffice for Mac[Office 2021/Microsoft 365 両対応]:技術評論社 ISBN: 9784297127916 USBメモリ32GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅱ			時間数 (コマ数)	210 (105)	単位数	7
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地の扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達 目標	縫製の基本を身につけ、松山コレクションでオリジナルデザインの作品発表に生かせるよう技術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～25	ワンピース(25コマ)		見返し、ファスナー				
	発表		撮影、作品発表				
26～55	オリジナルシャツ(30コマ)		縫い代立ち、衿、ポケット、前立て、カフス				
	発表		撮影、作品発表				
56～105	ジャケット(50コマ)		衿、二枚袖、裏地 進級制作				
	発表		撮影、作品発表				
使用テキスト 教材・教具	ボディ、他 約30点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、縫製技術20%、完成度30%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	クリエイションデザインⅡ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年	
授業科目の テーマと目的	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける。バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う。					
学習到達 目標	個性的でクリエイティブなデザインが考えられる力を修得。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法や、デザイン技術を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	ファッションアイテムの知識		コートの知識と課題			
3～4	〃		ブルゾンのバリエーションと課題			
5～6	〃		シューズと帽子のバリエーション、グッズデザイン①			
7～8	〃		バッグの知識、グッズデザイン②			
9～10	ブランディングデザイン		ブランディングとは			
11～12	〃		シーズン企画			
13	〃		ブランド企画			
14～15	〃		修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	スタイリングブック、プリント配布					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要			
備考						

授業科目	パターンメイキングⅠ-B	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。				
学習到達 目標	デザインを表現する為のダーツ操作ができ、創作デザインのパターン展開が出来る。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	襟ぐりのバリエーション	ダイヤモンドネック、ハートシェイプドネック、ローネック他6種			
3～6	ジャケット3面体	身頃パネルライン(AH)、テーラードカラー、二枚袖(実寸製図)			
7～10	トワールによる実寸組立て	トワール裁断、ピンワーク			
11～13	ジャケット4面体	身頃プリンセスライン(肩)、ショールカラー、二枚袖(実寸製図)			
14～16	トワールによる実寸組立て	トワール裁断、ピンワーク			
17	フード付きジャケット	身頃ラグラン切り替え、フード(実寸製図)			
18	フードのバリエーション	マチ付き他3種			
19～20	トワールによる実寸組立て	トワール裁断、ミシン縫製			
21～22	ワンピース①	身頃プリンセスライン、ラウンドネック、タックドスリーブ(縮尺製図)			
23～24	ワンピース②	身頃ウエスト切り替え、オープンカラー、半袖(縮尺製図)			
25～26	ワンピース③	きものスリーブワンピース(縮尺製図)			
27～28	身頃続きの袖	フレンチスリーブ、ドルマンスリーブ			
29～30	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキングⅠ(学校法人 杉野学園出版部)、パターンメイキングⅡ(学校法人 杉野学園出版部) ドレメ式原型(学校法人 杉野学園出版部)、ドレメオリジナル原型 1/5 他 約9点				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	色彩学Ⅱ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン制作、接客において複数提案できる色彩スキルを身につける。					
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	ファッション産業と色彩		ファッション産業における色彩の役割			
2	〃		企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通段階の色彩			
3	〃		染色について			
4	〃		ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)			
5	〃		照明の色と種類			
6～12	検定対策		過去問題集から模擬テスト、解答			
13～14	骨格診断		骨格診断の概要、骨格診断のファッションへの応用			
15	テスト		修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅰ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集：日本ファッション教育振興協会					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考						

授業科目	デジタル演習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	Adobe Illustrator、Photoshopを中心に基本操作から応用までのテクニックを修得できクリエイション デザインの幅を広げることが目標。						
学習到達 目標	ハンガーイラスト、スタイル画をPCで描ける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	Illustrator	直線ツール、曲線ツールの使い方					
3～4	〃	キャラクターを使用してツールの使い方を応用					
5～6	Photoshop	切り抜き、クリッピングマスクを使用しマガジンを作成					
7～8	Illustrator・Photoshop	Photoshopでの着色方法、Illustratorでハンガーイラスト の作成、					
9～10	Illustrator・Photoshop	ハンガーイラスト の作成、リフレクトツール、パスの連結 デザイン画をペン入れしスキャン後Photoshopで着色					
11～12	〃	Illustrator、Photoshopを使用しデザインマップを作成					
13～14	〃	マップからのデザイン発表					
15	修了テスト	マガジン(Photoshop切り貼り) ハンガーイラスト (Illustratorペンツール、リフレクトツール) デザイン画着色 (Photoshop着色)					
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	業界研究			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	特別講師			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	各分野の第一線で活躍されている講師による特別授業。専門学校の授業が実社会でどのように結びついているのかなど、知識だけではなく多方面から取り組む授業を実施。						
学習到達 目標	主体性や、ファッションに対する創造性・興味・関心・意欲を向上させる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 各分野の第一線で活躍されている講師陣による特別授業。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	舞台衣装		特別講義 1				
3～4	テキスタイル		特別講義 2				
5～6	ショップマスター		特別講義 3				
7～8	スタイリスト		特別講義 4				
9～10	デザイン		特別講義 5				
11～12	ポートフォリオ		特別講義 6				
13～14	コスチューム		特別講義 7				
15～16	メンズ		特別講義 8				
17～18	レディース		特別講義 9				
19～20	カメラ、映像		特別講義 10				
21～22	ライティング		特別講義 11				
23～24	スタイリスト		特別講義 12				
25～26	ブランド		特別講義 13				
27～28	経営		特別講義 14				
29～30	就職、キャリア		特別講義 15				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	マーケティング		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ショップマスターコース 1年	
授業科目の テーマと目的	実際に店舗開発をシュミレーションし、ファッションマーケティングを実践的に学ぶ。					
学習到達 目標	ファッションマーケティングの基礎知識を説明できる。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ7年 店長3年 バイヤー・マネージャー7年				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	ファッション業界の現状		現在の市場動向を把握 マーケティングとは			
2	店舗企画		価値の創出 コンセプト パーパス			
3	店舗企画		スタイリングイメージ			
4	店舗企画		STP分析			
5	店舗企画		バイイング SS			
6	店舗企画		バイイング AW			
7	店舗企画		PB企画 生産生産			
8	店舗企画		PB企画 海外生産			
9	店舗企画		オンラインショップ メタパース			
10	店舗企画		立地戦略			
11	店舗企画		52週MD VMDについて			
12	店舗企画		インスタプロモーション 接客			
13	店舗企画		3か年予算計画			
14	店舗企画		初年度月別予算			
15	総論		プレゼンテーション			
使用テキスト 教材・教具	パソコン					
参考図書 参考文献	ファッションビジネス能力検定2.3級 ファッション販売能力検定2.3級					
成績評価の 方法・基準	課題100で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						